

No.6

31 Jan. 2005

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちょう

Bird of Paradise

発行 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会

発行日 平成17年1月31日

編集 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 九段会館6F(ニューギニア航空日本支社内) TEL03-5216-3555 FAX03-5216-3556

## 新年のご挨拶

日本・パプアニューギニア協会

会長 谷口 誠

日本・パプアニューギニア協会 会員の皆様

新年明けましておめでとうございます。

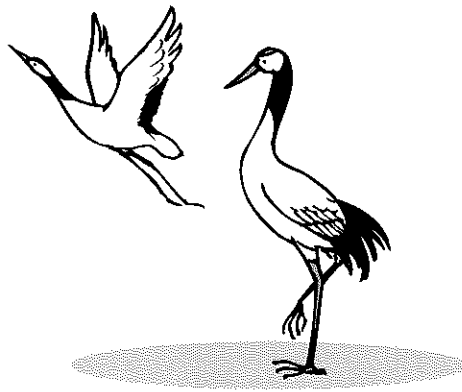
昨年は新潟地震、インド洋大津波をはじめ、甚大な被害をもたらした多くの自然災害を経験しましたが、新しい年は会員の皆様のご健康で、明るい希望に満ちた年となるよう祈念いたしております。

さて当協会は、昨年2月10日東京都知事より正式に特定非営利活動法人として認可されました。そして皆様のご協力により、さまざまな行事を行うことができました。

主なイベントとしては、9月16日に当協会とパプアニューギニア大使館との共催により、パプアニューギニア独立29周年記念レセプションをパレスホテルにて開催し、約100名の参加が得られました。さらにチャリティー・ゴルフ、上野動物園見学、東京国際大学の唐沢敬教授の引率による学生約20名のラバウル訪問と現地での交流、田中辰夫前大使による愛知県藤岡町でのパプアニューギニアについての講演、パプアニューギニアのツーリズム関係研修員3名の日本訪問、会員の賀集さんによる横浜でのパプアニューギニアのクリスマス紹介など、盛りだくさんのイベントが実施されました。会員各位のイニシアティブによりこのように活発な活動が行なわれたことを嬉しく思います。

本年は、来月2月14日から17日までソマレ首相の公式訪問が決定されており、当協会としてもソマレ首相の歓迎レセプションを開催する準備を進めています。また、本年はパプアニューギニア独立30周年の節目にも当たり、9月には盛大な記念式典を開催したいと考えております。

さらに本年は戦後60年目にも当たりますので、有限会社ユー・アンド・ユーの石神さん、デザイン事務所クレスト(当協会の会報「ごらくちょう」を担当)の賀部さん等が、ラバウル、ホニアラ(ソロモン諸



島)で、戦没者の慰霊と世界平和を祈念し、現地の人々との友好を深めるために、「南太平洋盆踊り大会/大花火大会」を企画しており、ぜひ実現させたいと考えております。

このように当協会発足2年目の本年も、積極的な活動を行いたいと考えておりますので、皆様よりどしどしアイデアをお寄せくださるようお願いいたします。

現在当協会の会員数は、法人会員13、個人会員74と、決して多いとはいえませんが、本年のソマレ首相の公式訪問を機会にさらに増加したいと考えておりますので、会員の皆様におかれましても、パプアニューギニアに関心をお持ちの方に是非お声をおかけください。

最近日本でもテレビなどでパプアニューギニアの自然、風景、民族、文化などが紹介されるようになりましたが、パプアニューギニアは観光のみならず、石油、天然ガス、鉱物資源、林業、漁業、コーヒーなど、資源国として日本にとっても重要な国となりつつあります。

現在東アジアは、「東アジア共同体」の成立に向け動き始めています。

パプアニューギニアもASEANのオブザーバーとして将来重要な国となることが考えられます。

当協会は本年も気持ちを新たに、パプアニューギニアとの友好関係をさらに促進したいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

2005年元旦

# パプアニューギニアから3名の研修生が来日

本年度も昨年度に引き続き、3名のPNG研修生が来日しました。本年度は、笹川平和財団より研修生招聘事業資金をお預かりし、当協会がイニシアチブをとり企画、実施いたしました。研修事業は、平成16年9月18日から10月2日の16日間

行われ、現在実際に日本人観光客の受け入れ業務に携わっているPNG研修生3名に対し、日本人と接する上で必要な日本語、ホスピタリティーを学べるよう、また日本をより深く理解するのに必要な日本の社会、ビジネス、観光事情を学べるようプログラムを組みました。



メリー・ジー・パイブ

パイブツアー  
ピーティーティーワイ社長

20年以上、ラバウルにおける日本市場をターゲットとした観光事業に携わってきた。

**コメント**

今回は20回目の来日でしたが、来日する度に日本人の優しさ、日本文化の素晴らしさに感動をおぼえます。また、経済の発展、テクノロジーの発達の目覚しさに驚きを感じます。



イライジャ・イー・ホン

パラダイス  
アドベンチャーツアー社長

トランス・ニューギニーツアーズ、サウス・パシフィックーツアーズでの経験を活かし現在にいたる。

**コメント**

すべての研修プログラムが非常によく構成されていて素晴らしかったです。来年も今回のような形でこのプロジェクトを実施してもらえたら、PNGのためになると思いました。



ノリ・マニアナ

ニューギニア航空  
アシスタントマーケティングマネージャー

ニューギニア航空に勤めて16年。旅行作家、TV関係者、観光業者等のあらゆるニーズに応えられる。

**コメント**

すべてのプログラムをたいへん興味深く受講しました。中でも、日本のビジネス、観光業についてのセッションは、現在自分が携わっている仕事上、役に立つと思いました。



沖縄県八重山支庁(大浜支庁長)を表敬訪問



本日のお昼は八重山料理。右手前はフリージャーナリストの友寄英正氏



八重山みんさー工芸館にて



谷口当協会会長より直接日本とPNGの両国関係の研修を受ける

**主な研修内容**

- \* 日本語研修及び日本とのビジネス関係論 (日米会話学院、トラジャル学院)
- \* エコツアー研修(沖縄)
- \* 旅行業研修 (箱根方面、都内、ホテル研修など)
- \* 日本とPNGの両国関係研修 (日本・PNG協会 谷口 誠 会長)

沖縄でのエコツアー研修では、折からの台風の影響で行程が一日短縮されたものの、飛行機や現地のプログラムの再手配を臨機応変に行い、無事にほぼ全行程をこなしました。これらの緻密な手配と行程管理は、研修生にとって非常によい実地訓練になったものと思います。研修最終日、3名の研修生たちは無事終了証書を受け取り、翌日のPXでPNGへ帰国しました。

# 上野動物園「PNGの動物見学ツアー」

東京都恩賜上野動物園のご協力を得て、平成16年10月16日(土曜日)、当協会が「PNGの動物見学ツアー」を実施いたしました。

当日は10月だというのに、初冬のように寒さが身に凍みましたが、上野動物園様の方からは、恩賜上野動物園園長小宮輝之様、飼育課飼育調整係長伊東員義様、同課東園飼育係長井田素靖様、同課普及指導係長永井清様がツアーの案内をして下さり、当協会からは、マイケル・マウエ大使とご子息様、鈴木副会長、田中理事顧問夫妻をはじめ、当協会会員及びご家族の方々、総勢18名が参加しました。まずパンダ舎を見学、その後、象舎で餌をやったり象をなでたり一般入場ではできないことを、体験させていただきました。

次にバードハウスで極楽鳥を見学し、そこでひとしきり写真をパチパチ撮り合いました。それから動物の餌を貯蔵している冷凍庫や冷蔵庫、動物が病気になった時に治療をする動物病院を特別に見せていただきました。

最後に西園へ移って、小獣館でフクロモモンガを見学し、そこで解散となりました。

普段なかなか気さくに交流できない会員同士が、動物園という場を通して親しくなれたことが今回の何よりの収穫でした。また、上野動物園様には多大なるご協力を賜りましたことを、この場をかりて心より御礼申し上げます。



上野動物園に贈られた「極楽鳥」と記念のプレート

私たちも楽しかったです!

上野動物園 飼育課 普及指導係長 永井 清

ニューギニア航空の成田直行便の就航記念として、パプアニューギニア(以下:PNG)政府から、親善のしるしとして2ペアのアカカザリフウチョウが寄贈されたのが2002年4月、それから早2年が経過しました。

国立の動物園がない日本では、上野動物園が日本国を代表する動物園として国際交流に貢献してきており、ジャイアントパンダやアジアゾウ、そして今回のアカカザリフウチョウも前述のとおり親善使節としての来園でした。

ただし、このことが縁で関係する団体の方々と直接交流を持つ機会は今回が初めてではないかと記憶しています。



動物病院にて



マウエ大使とご子息

上野動物園 小宮園長のご挨拶

当日は、日本PNG協会会員の方々のほか、PNG全権大使のご家族もお見えになり、初めはかなり緊張しましたが、とても気さくな方で楽しくご案内できたかと思います。

見学ツアーでは、普段公開していない「裏側」まで入って頂き、動物園をもっと間近に感じていただこうとコースを設定しました。このコースは、他の動物園関係者を案内する時にも使っていないものです。

約2時間という駆け足の見学でしたが、いかがでしたか。もっと時間があればいろいろアレンジできたのですが、ちょっと急ぎすぎたでしょうか。

上野動物園では現在、市民と共につくる動物園をめざしており、「市民協働」が一つのキーワードになっています。その意味でも、極楽鳥をきっかけとした国際交流はもちろんのこと、日本・PNG協会会員の方々にも動物園が身近なものと感じて頂けたら今回の見学ツアーは成功だったのではないかと思います。見学ツアーのあと、また行ってみようかな、と一人でも感じて頂き、実行に移された方がいればとても嬉しく思います。

希少な生物の宝庫PNG、希少な動物を守る動物園、そしてこれらに係わる多くの方々とともに交流できたこの機会是非常に意義深いと思います。今後ともPNGそして上野動物園のよき理解者でいてください。

## 前パプアニューギニア

## 田中辰夫大使 講演会

藤岡町 国際交流協会(愛知県西加茂郡)

平成16年12月5日(日曜日)、藤岡町中央公民館にて前パプアニューギニア田中辰夫大使の講演会を開きました。藤岡町国際交流協会と藤岡町は、これまで関係諸団体の協力を得てパプアニューギニアといろいろな形で関わってきましたが、実際にパプアニューギニアを体験した大使のお話は非常に新鮮であり、また興味深いものでした。2005年はいよいよ愛・地球博が開幕します。万博の期間、藤岡町はパプア・ニューギニアのホストとなっていますので、本会も藤岡町と共同してパプアニューギニアとの交流をいっそう進めてまいります。



講演中の田中大使と藤岡町のみなさん

# 横浜西洋館の 「パプアニューギニアのクリスマス」

Irene GASHU (賀集・イレーネ 当協会理事)

昨年12月1日～25日、財団法人横浜市緑の協会が主催、パプアニューギニア大使館と当協会が協賛、私がコーディネートのもと、横浜市西洋館「山手234番館」で「パプアニューギニアのクリスマス」が開催されました。

PNGのクリスマスに食べるお菓子として、ヨギ・バランパタズ (Mrs. Yogi Barampataz) PNG大使館公使夫人が、バナナケーキを27個も焼いて下さいました。

また、今回のテーマが「PNGの大自然」だったので、動物の形をした太鼓、ゴクラクチョウが描かれているマスクをニューギニア航空様からお借りしました。



飾りははじめすべてを手作りで仕上げたクリスマスツリー



バランパタズ公使夫人とイレーネさん PNGのビデオを鑑賞中のみなさん

また、常設展示室ではPNGの紹介を行い、陶芸家小野寺あき様に可愛らしいハリモグラを作っていただき、山本久子様から、種から育てたジャカラダの木を提供していただきました。開催中の18日には、「PNGのお祭り」を紹介するスライドショーとトークを私が行わせていただきました。途中の休憩時間に、上記でご紹介しましたバランパタズ公使夫人のバナナケーキと当協会法人会員でいらっしゃいます有限会社ユー・アンド・ユー様ご提供のPNGコーヒーを35名のお客様にご賞味いただきました。

クリスマスツリーの飾りはすべて手作り、その他、ビーム、コガネムシから製作した頭飾り、ロコアタ島で採取した白い貝殻など珍しい品々も展示でき、趣向を凝らした甲斐あってか、お蔭様で18,000人以上の方が観覧に来てくださいました。今回のイベントで、今までのPNGの「治安が悪い国」というイメージが、「穏やかな人々が暮らしている国」「かわいい動物のいる国」というイメージにとって代わってくればいいな、という私の願いが来館者の方々に伝わって下されば、こんなに嬉しいことはありません。

最後に、デコレーションと後片付けにご協力いただきました国井和子館長、山本久子様、田村智子様、加藤満様、関口ゆかり様、松田敦子様、湯藤美貴子様、渡部紀子様、山本則久様、増田康雄様にこの場をかりて御礼申し上げます。

## 事務局からのお知らせ

### おめでとうございます

谷口誠会長が2005年4月より、岩手県立大学学長に就任されることになりました。ますますのご活躍を期待しております。

### 谷口誠会長が

「東アジア共同体」を出版されました!

昨年11月末、谷口誠会長著「東アジア共同体—経済統合のゆくえと日本—」が岩波新書で出版されました。

この本は、世界にEU(欧州同盟)、FTAA(アメリカ自由貿易地域)などの地域統合が進む中で、東アジアにおいても地域統合への機運が高まりつつある現在、日本が「東アジア共同体」の成立に向け中心的役割を果たすことは、この地域の安定と発展に貢献する道であり、また21世紀において日本が矜持ある国家として発展する道でもあるという、谷口会長の強い信念のもとに書かれたもので、広く反響を呼んでおります。

会員の皆様にもご一読をお勧めします。

## JETRO MISSION

日本貿易振興機構(JETRO)が太平洋経済交流ミッション(平成16年11月)を実施しました。

詳細は次号でご紹介いたします。

## ソマレ首相来日

マイケル・ソマレ パプアニューギニア国首相が、2月14日～17日の日程で来日されます。

当協会は、2月15日(火曜日)パレスホテルにて歓迎レセプションを企画しております。別紙のご案内をご覧の上、ぜひお出かけ下さいますようご案内申し上げます。

## 「南太平洋盆踊り大会 ／大花火大会」を企画しました

平成17年(2005)は、日本にとって戦後60年、パプアニューギニアにとっては独立30周年の節目となります。太平洋戦争の終結から数えてすでに半世紀を超えています。

日本人は経済的繁栄を築くべく努力して参りましたが、南太平洋の戦いに限っても

何十万もの戦死者があったことを記憶にとどめておかねばなりません。

この大きな節目に、日本パプアニューギニア協会として、戦死者の招魂慰霊祭としての盆踊り大会と花火大会を現地で催すことができないだろうか、というのがこの企画の主旨であります。

詳細につきましては、後日、会員の皆様方に直接ご案内を差し上げますが、上記の主旨をご理解いただける全ての人々にご協力をお願いする次第でございます。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今年はより多くの会員の方の原稿を掲載したいと思っております。

皆様、恥ずかしくならずぜひ積極的に事務局にご連絡ください。

それにより会員同士の横のつながりが広がれば、この協会の存在意義も深まるというものです。

今年も張り切っていきましょう。

(佐藤直子)

## 日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的として、文化、学術、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

申し込み方法 / 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。  
年会費 / 個人会員 5,000円 法人会員 50,000円  
会費受付 / 郵便振替口座をご利用ください。

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。  
\*会員数 2004年12月末 法人会員/13 個人会員/74

口座記号 / 番号 00140-2-277582  
加入者名 / 日本・パプアニューギニア協会  
問合せ先 / 日本・パプアニューギニア協会 事務局  
〒102-0074  
東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6階  
(ニューギニア航空 日本支社内)  
電話:03-5216-3555  
E-mail:info@air-niugini.co.jp